

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		・基準は満たしているが、利用人数に対してトイレが1つで困る場合がある。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			・配置上必要な人数は配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		5	1	・一軒家である為、バリアフリー化が十分ではない。段差が多く、多目的トイレはない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		・保護者評価は31年1月に実施済み。保護者のご意見に関しては随時対策を検討していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			・31年3月に公表予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6	・外部評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・内部研修の実施、外部研修に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・面談時のアセスメントと、事前にアンケートを配布し、保護者、子どものニーズを考慮し放課後等デイサービス計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			・放課後ケアネットワーク仙台作成のアセスメントシート(仙台市確認済みのシート)を活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			・1ヶ月に1度皆で話し合い、活動内容を検討している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			・週毎に活動内容を変更している。同じような活動であっても、取り組みを変える等活動内容に配慮している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		・活動時間の長さに応じて活動を検討している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・特性に応じて放課後等デイサービス計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	5		・毎回打ち合わせを行えてはいないが、気づいた点は話し合っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	2	4		・毎回打ち合わせを行えてはいないが、気づいた点は話し合っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・活動終了後放課後等デイサービス計画にそってケース記録をとっている。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			・支援内容のモニタリングは定期的に行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	1		・活動内容を考慮して実施している。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			・児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	3		・下校時間のやり取りは行っているが、他の情報共有に関しては十分ではないと感じている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	4	・医療的ケアが必要な子の受け入れを行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		5	1	・中学生、高校生を対象にしているので、実施していない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3		・移行支援会議に参加しているが全員ではない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1		・研修会に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	2	・上野山児童館祭りへ参加しているが、全員ではない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			6	・体制上の理由から参加が難しい時が多い。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・帰りの送迎時等、保護者と話し合いを行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4		・ペアレント・トレーニングとは言い難いが、相談を受けた際は、助言する事もある。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・面談時直接説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		・保護者から訴えがあった時は行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			・年に2回茶話会を実施し、保護者間の連携の機会を設定している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			・苦情受付担当者を設置している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・毎月のおしらせ、年に2回おり〜ぶ通信を発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			・個人情報は鍵付きのロッカー等に保管している。鍵はキーボックスで保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・伝え方に配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5		・地域住民を招待するような行事、活動は行っていない。通信を地域住民に配布している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3	・各種マニュアルは作成している。保護者に配布は行っていないが緊急時の連絡先はお伝えしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		・夏、冬に避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		・内部の研修会に参加している。事業所内に虐待防止委員、マネージャーを設置し、不適切な支援と感じた際は話し合いを行っている。また、定期的にチェックリストをもとに支援の振り返りを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6		・場面を保護者に相談し、了承を得た上で対応している。また、対応時はケース記録に記入している。身体拘束が少なくなるように、支援方法について話し合いを行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4	・情報は保護者経由としている。医師から直接聞いていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		1	5 ・事例集は作成していない。ヒヤリハットにつながりそうなものは支援者間で情報を共有し、ミーティングノートに記入している。 ・ヒヤリハット集は今後作成する。